

現行の小・中・高等学校の歴史学習の特色等

平成28年3月4日
教育課程部会社会・地理歴史・公民
ワーキンググループ 参考資料1

※学習指導要領及び解説の記述をもとに作成

小学校 第6学年

○国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産についての興味・関心と理解を深める学習

【学年目標(1)】

【内容の取扱い】(1)：聖徳太子，雪舟，徳川家康，伊藤博文など42人の人物を例示

中学校 歴史的分野

○我が国の歴史の大きな流れを，世界の歴史を背景に，各時代の特色を踏まえて理解する学習【分野目標(1)】

○歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ，我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせる授業【分野目標(3)】

【内容】(1)ア：我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりする活動を通して，歴史を学ぶ意欲を高める学習

(1)ウ：学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動を通して，各時代の特色をとらえる学習

高等学校 日本史A

○我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け，現代の諸課題に着目して考察する学習【科目目標】

【内容】(1)「私たちの時代と歴史」：近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考え，歴史への関心を高める学習

(2)ウ「近代の追究」：近代における諸事象について適切な主題を設定して追究し表現する学習

(3)ウ「現代からの探究」：近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定し，資料を活用して探究し，その解決に向けた考えを表現する学習

高等学校 日本史B

○我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する学習【科目目標】

【内容】(1)ア「歴史と資料」：資料に基づいて歴史が叙述されていることをなど歴史を考察する基本的な方法を理解し，歴史への関心を高める学習

(2)ア「歴史の解釈」：歴史的事象の推移や変化，相互の因果関係を考察するなどの活動を通して，歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈する学習

(3)ア「歴史の説明」：歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付き，それぞれの根拠や論理を踏まえて，筋道立てて考えを説明する学習

(6)ウ「歴史の論述」：適切な主題を設定し，資料を活用して探究し，考えを論述する学習

高等学校
世界史A

○近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察する学習【科目目標】

【内容, 内容の取り扱い】

- (2) ア「ユーラシアの諸文明」：近現代史を理解するために必要な前近代の世界の枠組みを、文明の特質や交流の具体的様相に着目して大観する学習
- (3) 「地球社会と日本」：現代世界が当面する課題について、歴史的推移や因果関係などを多面的・多角的に捉え考察する学習
- (3) エ「地球社会への歩みと課題」：地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について、歴史的観点や歴史的背景を踏まえて考察する学習

高等学校
世界史B

○世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付け、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察する学習【科目目標】

【内容, 内容の取り扱い】

- (2) 「諸地域世界の形成」、(3) 「諸地域世界の交流と再編」：各地域世界の人々の生活、宗教、意識などを具体的に把握し、各地域世界の特質を大観する学習
- (2) エ「時間軸からみる諸地域世界」：設定した主題に基づき、時間的なつながりに着目して整理・表現する技能を習得する学習
- (3) エ「空間軸からみる諸地域世界」：同時代性に着目して設定した主題に基づき、空間的なつながりで整理・表現する技能を習得する学習
- (4) オ「資料からよみとく歴史の世界」：設定した主題に基づき、その時代の資料を選択して多面的・多角的に考察し、資料をよみとく技能を習得する学習
- (5) オ「資料を活用して探究する地球世界の課題」：生徒が主題を設定し、歴史的観点から資料を活用して探究し、表現する技能を習得するとともに、持続可能な社会の実現について展望する学習

※学習指導要領及び解説の記述をもとに作成